



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

東

上場会社名 日産化学株式会社 上場取引所
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下 小次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 理事財務部副部長 (氏名) 有田 信浩 (TEL) 03-4463-8404
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	96,466	△1.6	18,026	△7.1	18,646	△9.5	14,523	△5.8
2019年3月期第2四半期	98,038	7.7	19,399	12.4	20,613	15.6	15,409	16.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 11,051百万円(△33.7%) 2019年3月期第2四半期 16,669百万円(△0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	98.75	—
2019年3月期第2四半期	103.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	223,511	180,007	79.8
2019年3月期	246,990	182,074	73.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 178,424百万円 2019年3月期 180,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	42.00	82.00
2020年3月期	—	42.00			
2020年3月期(予想)			—	46.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	209,000	2.0	38,600	4.1	39,700	1.5	30,600	4.2	208.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」も合わせてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	147,000,000株	2019年3月期	149,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	653,844株	2019年3月期	1,217,872株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	147,069,733株	2019年3月期2Q	148,836,896株

※当社は、当第2四半期連結会計期間より「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託契約に基づき自己株式の取得を行いました。この結果、自己株式が799百万円増加しております。

また、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

期末自己株式数に含まれる当該自己株式数は、当第2四半期連結会計期間末において、166,200株です。

また、期中平均株式数から控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当第2四半期連結累計期間において、41,550株です。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

2019年11月8日(金)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。また当日開催する機関投資家・アナリスト向け説明会の説明内容(音声)については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 利益配分に関する基本方針	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）の国内景気は、個人消費や設備投資など内需が堅調に推移したものの、アジア向けを中心に輸出は低迷し、企業の生産活動は足踏み状態が続きました。このような状況のもと、当社グループの事業につきましては、化学品部門は、ファインケミカルが増収となりましたが、基礎化学品は減収となりました。機能性材料部門は、ディスプレイ材料は順調に推移しましたが、半導体材料および無機コロイドで減収となりました。農業化学品部門は、海外向け農薬を中心に減収となりました。医薬品部門は、「ファインテック」（医薬品技術開発型受託事業）は前年並みとなったものの自社創薬事業が減収となりました。

この結果、当期間における業績は以下の通りとなり、売上高、各利益ともに前年同期を下回ったものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は5月に発表した業績予想を上回りました。

・第2四半期累計期間における連結業績

（単位：百万円、百万円未満切捨て）

	2019年3月期 第2四半期 (実績)	2020年3月期 第2四半期 (実績)	前年同期比増減	2020年3月期 第2四半期 (業績予想)
売上高	98,038	96,466	△1,572	99,000
営業利益	19,399	18,026	△1,373	17,800
経常利益	20,613	18,646	△1,967	18,400
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15,409	14,523	△886	13,700

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品部門

基礎化学品では、メラミン（合板用接着剤原料等）はほぼ前年並みとなったものの、高純度硫酸（半導体用洗浄剤）の販売は落ち込みました。ファインケミカルでは、「テピック」の電材向け（ソルダーレジストインキ、LED封止材等）は販売が減少しましたが、一般向け（粉体塗料硬化剤）は増収となりました。

この結果、当部門の売上高は168億42百万円（前年同期比1億38百万円減）、営業利益は3億43百万円（同8億1百万円減）となりました。業績予想(注)比では、売上高は21億円、営業利益は10億円の下ぶれとなりました。

(注) 業績予想値は2019年3月期決算説明会資料(2019年5月15日発表)P17, 18に記載

機能性材料部門

ディスプレイ材料では、「サンエバー」（液晶表示用材料ポリイミド）のスマートフォンなど中小型向けおよびテレビなど大型向けが、ともに好調でした。半導体材料では、半導体用反射防止コーティング材（ARC[®]）が顧客の稼働率低下の影響を受け低調でした。無機コロイドは、「スノーテックス」の電子材料用研磨剤向けが減収となりました。オルガノシリカゾル・モノマーゾル（各種コート剤、樹脂添加剤）やオイル&ガス材料（シェールオイル・ガス採掘効率向上材）の販売も減少しました。

この結果、当部門の売上高は313億87百万円（前年同期比5億79百万円減）、営業利益は82億34百万円（同1億13百万円増）となりました。業績予想(注)比では、売上高は3億円の下ぶれ、営業利益は8億円の上ぶれとなりました。

(注) 業績予想値は2019年3月期決算説明会資料(2019年5月15日発表)P17, 18に記載

* ARC[®]はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

農業化学品部門

フルラネル（動物用医薬品原薬）は、顧客在庫影響により減収となりましたが、当初の計画は上回りました。国内向け農薬は、5月より日本で販売を開始した「グレーシア」（殺虫剤）が好調でした。ラウンドアップは、自然災害等の影響を受けた昨年より増収となりました。海外向け農薬は、「タルガ」（除草剤）や「パーミット」（除草剤）などを中心に売上が減少しました。

この結果、当部門の売上高は278億71百万円（前年同期比8億8百万円減）、営業利益は94億30百万円（同4億16百万円減）となりました。業績予想(注)比では、売上高は4億円の下ぶれ、営業利益は2億円の上ぶれとなりました。

(注) 業績予想値は2019年3月期決算説明会資料(2019年5月15日発表)P17, 18に記載

医薬品部門

「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）原薬は、国内外共に後発品の増勢により販売価格が下がり、減収となりました。「ファインテック」はほぼ前年並みの売上高となりました。

この結果、当部門の売上高は34億31百万円（前年同期比2億84百万円減）、営業利益は5億30百万円（同75百万円減）となりました。業績予想(注)比では、売上高、営業利益ともに予想通りとなりました。

(注) 業績予想値は2019年3月期決算説明会資料(2019年5月15日発表)P17, 18に記載

卸売部門

当部門の売上高は333億16百万円（前年同期比1億27百万円減）、営業利益は10億17百万円（同83百万円減）となりました。業績予想(注)比では、売上高は7億円の下ぶれ、営業利益は予想通りとなりました。

(注) 業績予想値は2019年3月期決算説明会資料(2019年5月15日発表)P17, 18に記載

その他の部門

当部門の売上高は98億31百万円（前年同期比6億70百万円減）、営業利益は1億29百万円（同1億5百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比234億79百万円減の2,235億11百万円となりました。

負債も借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末比214億13百万円減の435億3百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比20億66百万円減の1,800億7百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比6.8ポイント増加し、79.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、319億36百万円の収入（前年同期は291億45百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資による支出などにより、24億23百万円の支出（前年同期は59億66百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払、自己株式の取得による支出などにより、334億49百万円の支出（前年同期は314億78百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額の減少額3億76百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して43億12百万円減少し、318億70百万円（前年同期は294億93百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、第2四半期累計期間および足元での需要予測をもとに、前回発表予想値を下記の通り修正いたしました。

2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：億円、億円未満四捨五入）

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績
売上高	2,105	2,090	△15	△0.7%	2,049
営業利益	387	386	△1	△0.3%	371
経常利益	402	397	△5	△1.2%	391
親会社株主に帰属する 当期純利益	302	306	+4	+1.3%	294
1株当たり当期純利益	205円83銭	208円92銭	—	—	197円67銭

2020年3月期 通期部門別連結売上高および営業利益予想数値の修正

（単位：億円、億円未満四捨五入）

	売上高		営業利益	
	前回発表予想	今回発表予想	前回発表予想	今回発表予想
化学品	390	373	40	34
機能性材料	643	635	150	151
農業化学品	642	643	190	196
医薬品	70	70	10	11
卸売	678	671	20	21
その他	233	224	6	6
調整額	△551	△526	△29	△33
計	2,105	2,090	387	386

(4) 利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。

なお、2019年4月に始動した中期経営計画「Vista2021」のStageⅡでは、配当性向を2019年度に42.5%、2020年度以降に45%とすることに加え、総還元性向を2019年度に72.5%、2020年度以降に75%とすることを目標としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,183	31,870
受取手形及び売掛金	69,193	51,823
商品及び製品	32,215	32,197
仕掛品	41	705
原材料及び貯蔵品	9,742	11,622
その他	5,146	5,400
貸倒引当金	△32	△26
流動資産合計	152,490	133,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,251	24,693
その他（純額）	27,477	27,461
有形固定資産合計	52,729	52,154
無形固定資産		
ソフトウェア	721	631
その他	796	795
無形固定資産合計	1,517	1,427
投資その他の資産		
投資有価証券	35,229	30,365
その他	5,117	6,062
貸倒引当金	△92	△92
投資その他の資産合計	40,253	36,334
固定資産合計	94,500	89,917
資産合計	246,990	223,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,809	15,786
短期借入金	25,465	5,319
未払法人税等	4,330	5,117
賞与引当金	2,137	2,070
役員賞与引当金	25	12
その他	10,430	11,503
流動負債合計	60,198	39,808
固定負債		
長期借入金	1,116	856
事業構造改善引当金	370	310
関係会社事業損失引当金	309	309
退職給付に係る負債	152	181
その他	2,768	2,037
固定負債合計	4,717	3,694
負債合計	64,916	43,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,613	13,613
利益剰余金	143,200	141,584
自己株式	△6,291	△3,159
株主資本合計	169,464	170,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,634	8,066
為替換算調整勘定	△11	△863
退職給付に係る調整累計額	258	241
その他の包括利益累計額合計	10,880	7,443
非支配株主持分	1,728	1,583
純資産合計	182,074	180,007
負債純資産合計	246,990	223,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	98,038	96,466
売上原価	54,961	56,267
売上総利益	43,077	40,198
販売費及び一般管理費	23,677	22,171
営業利益	19,399	18,026
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	332	359
持分法による投資利益	408	395
その他	1,023	595
営業外収益合計	1,777	1,362
営業外費用		
支払利息	59	70
固定資産処分損	315	200
休止損	134	218
為替差損	-	222
その他	52	29
営業外費用合計	563	742
経常利益	20,613	18,646
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,694
特別利益合計	-	1,694
特別損失		
クロスライセンス契約負担金	-	834
特別損失合計	-	834
税金等調整前四半期純利益	20,613	19,506
法人税、住民税及び事業税	5,397	5,034
法人税等調整額	△276	△100
法人税等合計	5,121	4,934
四半期純利益	15,492	14,572
非支配株主に帰属する四半期純利益	82	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,409	14,523

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	15,492	14,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	850	△2,567
為替換算調整勘定	352	△935
退職給付に係る調整額	△26	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	1,176	△3,521
四半期包括利益	16,669	11,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,564	11,085
非支配株主に係る四半期包括利益	104	△34

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,613	19,506
減価償却費	5,049	4,698
受取利息及び受取配当金	△345	△372
投資有価証券売却損益 (△は益)	△268	△1,694
支払利息	59	70
固定資産処分損益 (△は益)	315	200
売上債権の増減額 (△は増加)	12,093	17,051
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,739	△2,980
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,054	△1,824
その他	1,875	689
小計	33,600	35,346
利息及び配当金の受取額	789	945
利息の支払額	△60	△70
法人税等の支払額	△5,183	△4,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,145	31,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△905	△6
投資有価証券の売却による収入	398	2,909
有形固定資産の取得による支出	△5,168	△4,175
有形固定資産の除却による支出	△268	△176
無形固定資産の取得による支出	△116	△128
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	91	△618
長期前払費用の取得による支出	△13	△420
その他	17	193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,966	△2,423
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△19,650	△19,400
長期借入金の返済による支出	△1,277	△930
配当金の支払額	△5,380	△6,206
非支配株主への配当金の支払額	△167	△111
自己株式の取得による支出	△5,002	△6,799
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,478	△33,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	90	△376
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,209	△4,312
現金及び現金同等物の期首残高	37,702	36,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,493	31,870

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年4月23日の取締役会決議に基づき、2019年5月10日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。加えて、2019年8月20日の取締役会決議に基づき、2019年8月30日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、利益剰余金が9,932百万円、自己株式が9,932百万円減少しております。

また、2019年5月15日の取締役会決議に基づき、1,269,600株の自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が5,999百万円増加しております。加えて、2019年7月30日の取締役会にて決議された「株式給付信託(BBT)」の信託契約に基づき、166,200株の自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が799百万円増加しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	12,299	28,403	26,732	3,716	23,115	3,771	98,038	—	98,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,681	3,563	1,947	—	10,327	6,731	27,252	△27,252	—
計	16,981	31,967	28,680	3,716	33,443	10,502	125,291	△27,252	98,038
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,145	8,120	9,846	605	1,100	235	21,054	△1,655	19,399

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,655百万円には、セグメント間取引消去△205百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,450百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	12,184	27,775	26,285	3,420	22,809	3,984	96,459	6	96,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,658	3,612	1,586	11	10,507	5,847	26,222	△26,222	—
計	16,842	31,387	27,871	3,431	33,316	9,831	122,682	△26,216	96,466
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	343	8,234	9,430	530	1,017	129	19,686	△1,660	18,026

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,660百万円には、セグメント間取引消去△164百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,501百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得

当社は、2019年11月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を買い受けることを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的資本政策の遂行を可能とするため

2. 取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 1,300,000株(上限とする)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 0.89%)
- (3) 株式の取得価額の総額 4,000,000,000円(上限とする)
- (4) 株式の取得期間 2019年11月11日から2020年4月30日まで

(ご参考) 2019年9月30日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く) 146,512,356株

自己株式数 487,644株

※上記自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(166,200株)は含まれておりません。